



石見幼稚園 地域だより



令和4年1月21日号
浜田市立石見幼稚園

鏡開きをしました！（13日）

今年は幼稚園の鏡開きを2日遅れの13日に行いました。

全園児が椅子をもって遊戯室に集まり、鏡餅についてのお話、鏡開きの謂れを聞いたり、紙芝居「なぜ鏡もちを飾るの？」を読んでもらったりしました。その後、「幼稚園の鏡餅を木槌で叩いて割りましょう！」と、一人ずつ順に木槌を持って鏡餅を打ちました。年長児は10回ずつ2セット！年少児は5回ずつ打ちました。堅くなった鏡餅はそう簡単には砕けません。「1！2！3！・・・10！」みんなで数を唱えながらの応援です。どの子も力いっぱい木槌を振り下ろしていました。

割れた鏡餅を一人ずつ順番に触り、「堅いね～！」「こんなに変わったんだ」「(断面を見て)ちぎったパンみたい。」と、つきたての時の餅の柔らかさとの違いにびっくりしていました。

今年もコロナ禍のため、割ったお餅は食べられませんでした。保育室に帰ってカップ汁粉（お湯を注いで1分かき混ぜるタイプ）をいただきました。

年長児は「おいしくな～れ！」と60回割り箸で混ぜてからいただきました。

（60回混ぜると約1分経過すると思われました。）

「今年一年元気に過ごせますように！そして新型コロナウイルス感染症も早く収束しますように！」と願いを込めて、鏡開きの行事を行いました。



お正月遊びを楽しんでいます！

冬休みに家庭でも楽しんでいたお正月の遊びや伝承遊びを園のお友だちとも一緒に教え合っています。「すごろく」「かるた」「トランプ」「将棋」は、ルールや遊び方を伝え合い、子ども達同士でも楽しく遊べるようになってきました。「はねつき」「こままわし」「けん玉」は何度も挑戦しています。友だちが成功すると一緒に喜び、自分も頑張ろうと練習する姿に繋がっています。こま回しは紐を撒くので手先の器用さも必要です。繰り返し挑戦する意欲は素晴らしいと思います。

数年前から「食育すごろく」も遊びの中に取り入れています。すごろく遊びをしながら栄養についても、子ども達なりに関心がもてるようになります。



当番活動～年少児もお兄さんお姉さんに教わって開始しました！～

全園児での当番活動が始まりました。4つのグループが「餌やり当番」「雑巾がけ当番」「くつばこ掃除当番」「水やり（雨天時：窓ふき）当番」を受け持ち、頑張っています。

年少児は、「どんなふうにするのかな？」「私もできるよ。任せろ。」とドキドキ緊張した様子の人もいれば、自信満々で年長児と一緒にできることを喜んでいる人もいます。年長児は当番に気持ちがあかない年少児に「お姉ちゃんと一緒にしよう。」と優しく誘い掛けています。

これから卒園するまでの間に、いろいろなことが年長児から年少児へと引き継がれていきます。



鮭の卵（イクラ）を育てています！！

「下府川を楽しむ会」の方から鮭の卵を預かり、水槽で飼育しています。イクラから仔魚が出て泳ぐ様子に子ども達は興味津々で水槽を覗き込んでいます。現在、可愛い鮭の赤ちゃん（仔魚）が17尾います。お腹の袋の栄養分を全部吸収し終わったら、餌やりを始めます。

「下府川を楽しむ会」の方々には10年前から放流をしておられ、最近では成魚となった鮭が下府川に遡上してくるようになってきたそうです。

3月の初旬に旧宇野小学校前の下府川へ稚魚を放流されるそうです。放流の日時が決まり、園の行事等と重なっていない場合には、石見幼稚園児も放流体験に参加したいと考えています。



石見幼稚園の魅力その⑨～わくわくにこにこルーム～

年長クラスの隣のお部屋は子ども達が思わずわくわくにこにこするようにと名づけられたお部屋です。中型積み木やネットのトンネル、ミニトランポリン、ままごとセット、カブラ等がいつ

でも使えます。また、季節ならではの素材などもあり、子ども達の楽しい遊びが展開されます。

遊びの場を残しておくこともできる場所なので、お店屋さんやお化け屋敷ごっこなど継続して取り組むこともできます。



「びよびよの会（未就園児の会）修了式」について

今年度最後となる第8回びよびよの会（1月19日開催予定でした）は新型コロナウイルス感染症予防対策のため延期することになりました。今後の状況を見て開催することにしていきます。修了式を開催することになりましたら、会員の方には個別にご連絡いたします。

1月 園の草花などの紹介・・・ヒオラ・ハボタン・サクラソウ・ワスレナグサ・スイセン

